

いまに続く戦争の惨禍！

日本軍が遺棄した毒ガスの現状

—調査・治療・支援に関わった小児科医師が映像で報告します—



被害者の診察にあたる中川医師

戦時中、日本軍が毒ガス兵器を大量に生産。中国戦線等で使用し、日本国内や中国各地に貯蔵していたことをご存知ですか？毒ガスは終戦時に川や池や地中に遺棄され、隠されてしまいました。しかし、最近になって掘り出されたこの毒ガスによって死亡や重傷をおう事件が、中国と日本で起きています。

事件による健康被害を現地調査し、治療や援助にあたっておられる中川医師に映像もまじえてお話いただきます。

お話し：中川 元先生（耳原鳳クリニック小児科医師）

2018年10月21日（日）13時30分より

堺市立国際交流プラザ 大会議室（6階）☎072-340-1090



南海高野線堺東駅下車徒歩3分/堺市役所北側〈堺東EH第3ビル〉

資料代：500円〈学生、障がい者の方は無料〉



1階『三井のリハウス』
2～4階東進衛星予備校

主催：日本中国友好協会堺支部／共催：社会医療法人同仁会、日本中国友好協会大阪府連合会／後援：堺総合法律事務所、大阪労連堺労働組合総連合

協賛：堺市職員労働組合、堺市内民商連絡会、主権者のつばさ・いのち輝く民の風、堺平和委員会自由と自治・進歩と革新をめざす堺市民の会、堺市教職員組合

堺退職教職員の会、新日本婦人の会泉北ニュータウン支部・堺支部

【連絡先：日本中国友好協会大阪府連合会 ☎06-6372-8131】